## 「8月6日に爆心地を通って」

~被爆者からのメッセージ~



3月18日(日) 日時

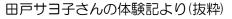
14:00~15:30

場所東京教組会議室

(日本教育会館 2 階)

田戸サヨ子さん お話 参加費 無料





「多くの級友が怿我をした中で、私ともう一人の友人と二人だけ無傷だった。怿我をした友人を県病院に連れてい き、自宅まで届けて、帰宅を急いだが、御幸橋まで来てそこから先は燃えていた。橋の上で何時間待ったか、やっ と通れるようになり、まだ両側が燃えている中を、電車道を必死で歩いた。

私は家に帰りたい。母のことが心配で、その日のうちに誰も通っていない紙屋町から相生橋に向けて、折り重な る死体や散乱している物をよけながら相生橋までたどり着いた。何と360度ぐるりと見渡せる程建物は何もなか った。もうだめだ、私の家も焼けている。橋の上に座り込んで暫く友人と泣いていた。」

(国立広島原爆死没者追悼平和祈念館の『体験記を読む』より)



今回の平和学習では 8月6日の当日に 爆心地の原爆ドームの辺りを 歩いて逃げたという とても貴重な体験を 聞くことができます。

被爆体験を直接聞くことができる 最後の世代である私たちが 聞くべき大切なお話です。

被爆体験を語ってくださるのは 田戸サヨ子さんです。 14歳のとき 爆心地から 3.5 kmの 女学校で被爆しました。

1人でも多くの方に 聞いていただきたいお話です。 どなたでも参加できます。 ぜひご参加ください。